

抗議の要請文

2月12日の原子力潜水艦ミシシッピの横須賀入港に強く抗議する。横須賀は原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦ミシシッピはただちに横須賀港から出て行くこと強く要求する。

米海軍第7艦隊司令官 フィリップス・ソーヤー中将 殿
在日米海軍司令官 グレゴリー・フェントン少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 ジェフリー・キム大佐 殿

神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
原水爆禁止神奈川県協議会

2月12日午前11時35分、バージニア級攻撃型原子力潜水艦ミシシッピが横須賀基地に入港した。今年の原子力潜水艦の入港は3回目、原子力艦船の入港も3回目で、通算960回となった。現在、横須賀基地には、原子力空母R・レーガン、原潜ミシシッピの2隻の原子力艦船が滞港している。

現在、北東アジアの情勢は、北朝鮮の核開発や弾道ミサイル発射などで緊迫している。私たちは、平和を脅かす北朝鮮のこれらの行動を厳しく批判する。同時に、日米韓の大規模な軍事演習による威嚇行動にも反対する。甚大な犠牲と破壊をもたらす戦争は絶対に避けなければならない。

この状況を打開する道は、国際社会が一致して経済制裁を強化するとともに、対話による平和的解決に全力で取り組むことである。軍事一辺倒の「圧力強化」では打開できない。関係国が北朝鮮との対話・外交交渉に踏み切り、その中で核開発やミサイル発射を止め、その放棄を迫ることが重要である。今、平昌オリンピックで対話の機運が生まれていることは歓迎すべきことである。

2月2日、米政府は、「核態勢の見直し(NPR)」を公表した。この内容、核兵器を「安全保障に必要」と正当化し、潜水艦発射ミサイル、陸上配備型大陸弾道ミサイル、戦略爆撃機の3本柱の近代化、小型核弾頭や核巡航ミサイルなどの開発を打ち出した。しかも、先制的な核攻撃も可能としている。これらは核兵器のない世界を求める人々の願いに逆行するものであり、極めて重大である。

今後、NPRの実施で、米原潜の核兵器搭載、核持ち込みの可能性が強まり、横須賀基地に入出港を繰り返している原子力潜水艦への核弾頭搭載も懸念される。非核三原則を国是とする日本の港に核兵器を持ち込むことは絶対に許されない。

首都圏は巨大地震発生の可能性が強まり原子力艦船の原子炉事故の可能性は増大している。米軍は地震や津波による原子力艦船の事故対策を明らかにし、県民への情報公開を要求する。

横須賀基地を戦争の出撃拠点にし、県民を放射能被害の危険にさらす原子力艦船の母港化、入出港はただちにやめること。原潜ミシシッピは横須賀から出て行くことを要求する。

以上